

表 5・1 平成 30 年度事業報告 (その 1)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
公1・編集出版事業	
有機合成化学協会誌	
<p>第 76 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 5,400 部(除く第 11 号)、5,600 部(第 11 号)、総頁数 1,538                      普通号 10 回；特集号(第 5 号「天然物化学はおもしろい！－現場からの声－」；第 11 号 Special Issue in English)                      掲載内容：巻頭言 12 頁(12 件)、総説 79(7)、総合論文 793(94)、Review de Debut 47(23)、ラウンジ 71(8)、ケミカルズ覚え書き 0(0)、十字路 11(44)、新企画（「感動の瞬間」；「MyPR」）35(11)、新しい合成 52(209)、会告・協会記事等 225、広告 148                      新企画「感動の瞬間」、「Message from Young Principal Researcher (MyPR)」の掲載を開始。                      (独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2018 年度分を掲載。</p>	
単行本の編集・出版	
該当なし	
公1 関連会議	
有機合成化学協会誌編集委員会(1/19, 3/16, 5/25, 7/24, 9/11,12/5)	
公2・研究会事業	
シンポジウム【本部】	
<p>第 113 回有機合成シンポジウム；6/6～6/7；名古屋大学坂田・平田ホール                      口頭研究発表 35 件；ポスター発表 69 件 合計 104 件；優秀ポスター賞 7 件表彰                      受賞講演 2 件【平成 29 年度有機合成化学協会・企業冠賞受賞講演】                      1. [シオノギ・低分子創薬化学賞]                      生物活性天然物の効率的合成のための新合成法論の開発（名大院生命農）西川俊夫                      2. [東ソー・環境エネルギー賞]                      有機分子の触媒的脱水素化を基軸とする効率的有機合成ならびに水素貯蔵・水素製造（京大院人間・環境）藤田健一                      共催：日本化学会；日本薬学会 協賛：日本農芸化学会</p>	212(116)
<p>第 114 回有機合成シンポジウム；11/6～11/7；早稲田大学国際会議場                      口頭・ポスター発表 40 件；ポスター発表 12 件 合計 52 件；優秀ポスター賞 5 件表彰                      受賞講演 3 件【平成 29 年度有機合成化学協会・企業冠賞受賞講演】                      1. [第一三共・創薬有機化学賞]                      有機イオン対触媒の設計と機能創出（名大院工）大井貴史                      2. [日産化学・有機合成新反応／手法賞]                      イリジウムならびにロジウム触媒を駆使した効率的分子変換法の創出（早大理工）柴田高範                      3. [富士フイルム・機能性材料化学賞]                      大環状芳香族分子を活用した多能材料開発（東大院理）磯部寛之                      共催：日本化学会；日本薬学会 協賛：日本農芸化学会 後援：早稲田大理工学術院総合研究所</p>	194(87)
<p>第 51 回酸化反応討論会；11/1～11/2；九州大西新プラザ                      招待講演 2 件、一般口頭発表 20 件、ポスター発表 42 件                      主催：第 51 回酸化反応討論会実行委員会                      共催：有機合成化学協会、日本化学会、日本薬学会、錯体化学会、触媒学会、九州大学先端物質化学研究所 協賛：日本農芸化学会</p>	109(42)
<p>第 48 回複素環化学討論会；9/3～9/5；長崎ブリックホール国際会議場／長崎新聞文化ホール                      一般口頭発表 55 件、ポスター発表 125 件                      主催：第 48 回複素環化学討論会実行委員会                      共催：有機合成化学協会、日本化学会、日本薬学会 協賛：日本農芸化学会</p>	348(150)
<p>第 51 回有機金属若手の会・夏の学校；7/2～7/4；レイクフォレストリゾート(京都)                      招待講演 3 件、依頼講演 7 件、若手講演 2 件、ポスター発表 126 件                      主催：有機金属若手研究者の会                      共催：有機合成化学協会、近畿化学協会有機金属部会 協賛：日本化学会</p>	191(174)

表 5・2 平成 30 年度事業報告 (その 2)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【北海道支部】	
<p>第 30 回万有札幌シンポジウム ; 7/7 ; 北海道大学 招待講演 5 件、ポスター発表 20 件 1.機能性分子低次元系のボトムアップ創製 (東大院理) 坂本良太 2.保護基・活性化基に頼らない直接触媒反応 (九大院薬) 大嶋孝志 3.環状 <math>\pi</math> 共役分子の新しい有機化学 (京大化研) 山子茂 4.キラリな遷移金属錯体の不斉合成と応用 (徳島大院社会産業理工) 小笠原正道 5.協奏機能型不斉触媒が拓く環境調和型医薬合成 : 30 年前の北大が出発点 (微化研) 柴崎正勝 主催 : 万有札幌シンポジウム組織委員会 共催他団体:北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター、日本化学会北海道支部</p>	360(300)
<p>日本化学会北海道支部 2018 年 夏季研究発表会 ; 7/21 ; 北見工業大学 特別講演 2 件 1.ナノ粒子集積体のボトムアップアプリケーションとバイオ・フォトニクスへの応用 (北海道大学電子科学研究所・北海道大学国際連携研究教育局) 居城邦治 2.世界の化学会を目指して (日本化学会会長・自然科学研究機構 分子科学研究所) 川合眞紀 一般口頭発表 102 件 主催 : 日本化学会北海道支部 共催他団体 : 北見工業大学、日本分析化学会・高分子学会・触媒学会・日本エネルギー学会・石油学会の各北海道支部、日本セラミックス協会東北・北海道支部</p>	165(96)
<p>若手研究者のための有機化学札幌セミナー ; 11/8 ; 北海道大学 1.触媒の特性を活かした化学選択的反応の開発 (北大院理) 清水洋平 2.エラジタンニンの合成研究と新規グリコシル化反応の開発への挑戦 (北大院理) 池内和忠 3.高原子価ロジウム・コバルト触媒による不斉 C-H 活性化反応 (北大院薬) 吉野達彦 4.発光色変化や機械的応答を示す外部刺激応答性金錯体 (北大院工) 関朋宏 5.<math>\alpha</math>-プロモカルボニル化学の世界 (山口大院創成科学) 西形孝司 以上の 5 名の演者による招待講演 主催 : 有機合成化学協会北海道支部 ; 共催 : 有機合成化学協会</p>	193(162)
シンポジウム【東北支部】	
<p>第 29 回万有仙台シンポジウム ; 6/9 ; 仙台国際センター 1.アミドを PlayGround とした反応設計 (微化研) 熊谷直哉 2.有機化学で複合糖質研究に挑む (九大院薬) 平井剛 3.生理活性天然物の迅速合成・骨格変化の新戦略 (東農工大院工) 大栗博毅 4.生体分子の構造変換ダイナミズムへの人的介入を目指した触媒研究 (東大院薬) 金井求 5.医療応用を目指した核酸の機能的再インストール (名大院工) 浅沼浩之 主催 : 万有仙台シンポジウム組織委員会</p>	326(224)
<p>第 1 回女性研究者シンポジウム 6 月 8 日(金)東北大学片平キャンパス 1.新規な有機ヘテロ元素化合物の遷移金属触媒合成と機能 (東北大院薬) 有澤美枝子 2.ヘテロ環化学～有機触媒からケミカルバイオロジーへ～ (上智大理工) 鈴木由美子 3.生き物との触れ合いから見つかる化学 (慶大理工) 犀川陽子 4.遷移金属-ケイ素/ゲルマニウム多重結合錯体の合成とその不飽和有機分子との反応 (東北大院理) 橋本久子 主催 : 東北大学薬学研究科 ; 共催 : 東北大学男女共同参画推進センター(TUMUG)</p>	77(57)
<p>仙台地区春の講演会 ; 6/16 ; 東北大学大学院理学研究科 1.光学活性なヒドロキシキノリンを有する新薬の実用的製法の開発 (田辺三菱製薬) 大島正裕 2.安定結合の活性化を活用する有機合成反応の開発 (中央大) 檜山爲次郎 3.創薬から商用生産まで : 薬づくりの過去、現在そして未来 (武田薬品工業) 三輪哲生</p>	126(92)
<p>化学系学協会東北大会 ; 9/15～9/16 ; 秋田大学手形キャンパス 【特別講演】 1.分野融合・異分野協力で化学に新しい感性を (日本化学会, 自然科学研究機構分子研) 川合眞紀 2.多孔性錯体材料(MOP/PCP)の化学とその応用 (京大高等研究院) 北川進</p>	540(325)

表 5・3 平成 30 年度事業報告 (その 3)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き            3.ペロブスカイト太陽電池における化学／物理の学祭研究の現状と将来 (桐蔭横浜大医工) 宮坂力  <b>【有機系講演】</b>            有機化学セッション            「Controlled Synthesis of New Polyolefins by Pd-Catalyzed Isomerization Polymerization」            (弘前大理工) 竹内大介            「Synthetic Study for Analogs of Bioactive Natural Products, Butenolides and Coumarins」            (岩手医大薬) 田村理            「得意な構造を有する芳香族天然物の全合成研究」(秋田大院理工) 藤原憲秀            「疾患関連核酸高次構造を標的とした反応性プローブの開発」(東北大多元研) 永次史            有機化学コロキウム            「クイックケミストリー制御による自在な分子連結法の開発」(東京医歯大生材研) 吉田優            「立体効果を利用した新しいアルキン化学」(九大先導研) 井川和宣            「Chemical reactions accelerated on nucleic acids and their applications」(東北大多元研)            鬼塚和光            「 Guanin 4 重鎖のケミカルバイオロジー研究」(東農工大院工) 長澤和夫            その他講演 43 件 ; ポスター発表 277 件            共催 : 日本化学会, 高分子学会, 日本分析化学会, 化学工学会, 電気化学会, 日本材料学会の各            東北支部, 繊維学会東北北海道支部, 無機マテリアル学会北部支部</p>	
<p>第 33 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー ; 11/10 ; 東北大学大学院薬学研究科            1.「(-)-Dehydrobatzelladine C の全合成」(東北大院薬) 丸茂和哉            2.「放線菌由来ポリエンマクロラクタム 8-デオキシヘロナミド C の収束的全合成」(東北大院薬) 寺島隆世            3.「アルミニウム Lewis 酸と 2,6-ジプロモピリジンを用いた酸クロリドによるアルケン類のアシル化」(東北大院            工) 國澤主            4.「二つの第二級アミン触媒を用いた不斉マイケル反応の開発及び反応機構解明」(東北大院理) 榎窪成祥            5.「転位型エルゴスタン骨格を有するストロファステロール類の全合成」(東北大院農) 佐藤俊太郎            6.「デオキシ糖を原料とした炭素五員環の創製と有用化合物への応用」(東北大多元研) 神島亮明            7.「生物活性新奇鎖状ペプチド JBIR-126 の全合成」(東北大院薬) 大山皓介            8.「不飽和ケイ素を含むケイ素クラスターの骨格変換反応」(東北大院理) 横内優来            9.「Grubbs 触媒を用いたアミンの酸化反応の開発とアシスト型タンデム触媒反応への応用」(東北大院            薬) 河内大知            10.「凝集誘起発光を示す 1,1,2,2-テトラキス(5-アリール-2-チエニル)エチレン誘導体の合成」(岩手大理            工) 村岡宏樹            11.「F10BINOL を不斉源としたキラルリン酸触媒による不斉カルボニル-エン反応の開発と立体制御機構解            明」(東北大院理) 菊池隼            12.「環状ポルフィリン(2.1.2.1)多量体の合成と物性」(岩手大理工) 葛原大軌</p>	152(123)
<p>第 35 回有機合成化学セミナー ; 9/18~20 ; ほほえみの宿滝の湯(山形県天童市)  <b>【招待講演 8 件】</b>            1.水中における無保護糖からの一段階グリコシル化反応 (東北大院工) 正田晋一郎            2.触媒の発見から産学連携による実用化、触媒研究の未来 (産総研) 佐藤一彦            3.生理活性脂質と化合物オリエン特創薬 (小野薬品工業) 丸山透            4.複雑な多環性アルカロイド類の全合成研究 (徳島大院医歯薬) 難波康祐            5.IoT/次世代パワエレに貢献する秘伝の外『新規溶剤群セルトール』(ダイセル) 赤井泰之            6.含硫黄 <math>\pi</math> 電子系の化学の新展開 (名大院理) 深澤愛子            7.つる巻き状分子不斉の創出と応用 (神戸大院工) 森敦紀            8.多様性拡大抽出物を利用したケミカルライブラリーの拡充 (東北大院医) 大島吉輝  <b>【Lecture Ship 受賞講演 1 件】</b>            1.Chemical Synthesis of Secondary Metabolites (The Scripps Research Institute, 米国)            Ryan A. Shenvi</p>	212(95)

表 5・4 平成 30 年度事業報告 (その 4)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き</p> <p>【Mukaiyama Award 受賞講演 2 件】</p> <p>1.Iterative assembly strategies for the programmable synthesis of complex organic molecules (Eidgenössische Technische Hochschule Zürich, スイス) Jeffrey W. Bode</p> <p>2.不活性結合の触媒的変換反応 (阪大院工) 鳶巣守</p> <p>【奨励賞受賞講演 5 件】</p> <p>1.有機分子の潜在的反応性を活用した高次構造天然物の全合成研究 (東工大理) 安藤吉勇</p> <p>2.可視光フォトレドックス触媒作用を基盤としたラジカル的官能基化法の開発 (東工大科技創成研) 小池隆司</p> <p>3.ユビキタス金属触媒を利用した化学変換反応の開発 (広島大院工) 米山公啓</p> <p>4.ルテニウム-プロトン協働触媒による Tsuji-Trost 反応の新展開 (名大物質国際研セ) 田中慎二</p> <p>5.α-プロモカルボニルを第 3 級アルキル源とする多彩な合成化学 (山口大院創成科学) 西形孝司</p> <p>ポスター発表 88 件</p> <p>共催: 有機合成化学協会本部</p>	
シンポジウム【関東支部】	
<p>第 75 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(千葉大シンポジウム); 5/20</p> <p>千葉大学西千葉キャンパス</p> <p>特別講演 2 件、一般研究講演 48 件</p> <p>1.遷移金属錯体触媒を用いた芳香環構築法の新展開 (東工大物質理工) 田中健</p> <p>2.多環性天然物合成への挑戦 (千葉大院薬) 西田篤司</p> <p>[若手講演賞] 4 件表彰</p> <p>共催: 日本化学会、日本薬学会、千葉大学</p>	148(76)
<p>第 76 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新潟・長岡シンポジウム); 12/1~12/2;</p> <p>長岡技術科学大学</p> <p>特別講演 3 件、一般研究講演 71 件</p> <p>1.機能性大環状化合物群の創成 (岡山大院自然科学) 依馬正</p> <p>2.フッ素のもたらす機能と新薬開発への応用 - 含フッ素プロスタノイドの創製 - (AGC) 松村靖</p> <p>3.タンパク質の部位特異的修飾とがん治療への展開 (東工大化生研) 中村浩之</p> <p>[若手講演賞] 7 件表彰</p> <p>共催: 日本化学会、日本薬学会 後援: 長岡技術科学大学</p>	169(84)
<p>若手研究者のためのセミナー; 8/4; 東京大学薬学系総合研究棟 2 階講堂; 講演 6 件</p> <p>1.リン原子に秘められた特性を引き出して活用する合成化学的手法の開拓 (東京医歯大生材研) 西山義剛</p> <p>2.特異な構造特性および集合構造を有する高分子の合成と機能 (東工大化生研) 石割文崇</p> <p>3.光と触媒が可能にするアシルシランの合成化学への活用 (学習院大理) 石田健人</p> <p>4.パラジウム触媒によるカルボン酸誘導体の多彩分子変換 (東京理大理工) 荻原陽平</p> <p>5.元素の特性を活かしたエーテル環合成法の開発と海洋産ポリエーテル系天然物の合成研究 (東京農大生命科学) 齊藤竜男</p> <p>6.ナフトキノンの光酸化還元反応を活用したスピロキン類の全合成研究 (東工大理) 安藤吉勇</p>	103(67)
シンポジウム【東海支部】	
<p>有機合成セミナー; 6/30; 岐阜大学</p> <p>1.糖鎖に細工をする有機化学 (九大院薬) 平井剛</p> <p>2.フロー合成先進地を目指して - 地方公設試験機関の取り組み - (和歌山県工技セ) 森一</p> <p>3.天然物の効率的合成のための新合成方法論の開発 (名大院生命農) 西川俊夫</p>	82(53)
<p>若手研究者のためのセミナー; 7/14; 中部大学名古屋キャンパス</p> <p>【支部奨励賞受賞講演】</p> <p>1.二官能性テトラアリアルホスホニウム塩触媒の開発 (信州大工) 戸田泰徳</p> <p>2.パラジウム触媒を用いる位置選択的反応の開発と多置換芳香族化合物類の合成への展開 (静岡県大薬) 山口深雪</p>	67(51)

表 5.5 平成 30 年度事業報告 (その 5)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き 【招待講演】 1.精密重合と機能性高分子の精密合成:有機合成化学と高分子化学との接点と協奏 (中部大総合工) 澤本光男 2.ルイス酸からペプチド合成に (中部大分子触媒研セ) 山本尚</p>	
<p>第 49 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会; 11/3~11/4; 名古屋大学 【特別討論会】「有機化学の挑戦」 &lt;依頼講演&gt; 1.精密合成で拓く糖鎖の異分野融合研究 (岐阜大 生命の鎖統合研セ) 安藤弘宗 2.ベンゼンをフェノールに変換するバイオ触媒系の開発 (名大院理) 荘司長三 3.特殊反応場における触媒的有機合成 (静岡大院工) 間瀬暢之 4.高反応性 13 族元素化合物の合成と反応性 (名大院工) 山下誠 &lt;招待講演&gt; 1.ハーバー・ボッシュ法を超えるアンモニア合成法への挑戦 (東大院工) 西林仁昭 2.協働金属触媒による有機合成反応 (京大院工) 中尾佳亮 共催: 日本化学会、高分子学会、化学工学会、日本農芸化学会、日本油化学会、日本薬学会など</p>	529(301)
<p>総合講演会; 12/14; 三重大学 1.新規不斉触媒の創製と四置換不斉炭素構築への挑戦 (名工大院工) 中村修一 2.不均一系触媒が拓く連結・連続フロー有機合成: 基礎反応開発からファインケミカルズ製造へ (東大 GSC 社会連携講座) 石谷暖郎</p>	44(40)
シンポジウム【関西支部】	
<p>有機合成化学北陸セミナー; 9/13~9/14; 金太郎温泉(富山県魚津市) 【特別講演 3 件】 1.閉殻および開殻窒素活性種による複素環合成 (京大院工) 大江浩一 2.非中心不斉化合物を基盤とする精密有機合成 (阪府大院理) 神川憲 3.医薬品の実践プロセス化学~ルートスカウティング・反応開発・スケールアップ~(大日本住友製薬)鬼頭真 一般研究発表 12 件; ポスター発表 48 件 共催: 日本化学会、日本薬学会</p>	182(138)
<p>第 38 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」; 8/7; 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス 1.グルコースのピラノース環は柔らかいかも (関西学院大理工) 山田英俊 2.クロスカップリング反応による第四級炭素構築手法 (阪大院工) 岩崎孝紀 3.連続ヘテロ原子が関与するアミドの化学 (神戸薬大) 武田紀彦 4.イリジウム触媒を使った高原子効率型付加反応 (阪市大院理) 西村貴洋 5.ケミストが挑んだ新薬創製の道のり (東和薬品/大地化成) 内川治 6.高周期典型元素を含む新規な <math>\pi</math> 電子系の創出 (京大化研) 時任宣博 ポスター発表 102 件 共催: 日本薬学会</p>	247(178)
シンポジウム【中国・四国支部】	
<p>若手研究者のためのセミナー(第 34 回若手化学者のための化学道場); 9/13~9/14; サンピアセリーズ; 世話人: 西脇永敏 【特別指南講演】 有機合成研究の醍醐味-モノづくりはヒトづくり (高知大名誉) 小槻日吉三 【師範講演】 1.含窒素 <math>\pi</math> 共役分子からなる硬い、柔らかい機能性材料 (香川大工) 磯田恭佑 2.複雑な多環性アルカロイド類の全合成 (徳島大院医歯薬) 難波康祐 3.Pd 触媒を用いた 1,3-ジチオール環を有する新規 <math>\pi</math> 共役系化合物の合成 (愛媛大院理工) 吉村彩 4.アセチレン誘導体の簡略化合成法の開発と有機材料創製への応用 (岡山理大工) 折田明浩</p>	70(49)

表 5・6 平成 30 年度事業報告 (その 6)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き</p> <p>5.高圧水素条件における担持 Ru 触媒によるグルタミン酸から 2-ピロリドンのワンポット合成反応 (鳥取大院工) 菅沼学史</p> <p>6.キララなグアニジン触媒を用いる不斉アシル化および不斉シリル化反応による速度論的光学分割法の展開 (鳥根大院自然) 中田健也</p> <p>7.隣接トリカルボニル化合物を活用した多官能化合物合成 (阪大院工) 浅原時泰</p> <p>8.クロメン・クロマノン系天然由来生物活性化合物の合成研究 (広島大院医歯薬保) 熊本卓哉</p> <p>ポスター発表: 25 件</p>	
シンポジウム【九州・山口支部】	
<p>第 30 回若手研究者のためのセミナー; 9/1; 九州大学病院キャンパス; 世話人: 谷口陽祐(九大院薬) 特別講演 1 件; 招待講演 1 件; 受賞講演(ポスター賞); 企業紹介; ポスター発表</p>	126(99)
<p>第 6 回日英触媒の不斉合成シンポジウム; 11/28-29; 九州大学医学部百年講堂</p> <p>触媒の不斉合成に関連する英国および日本を代表する研究者 20 名が一同に会し、最新の研究成果を発表する。</p> <p>共催: 有機合成化学協会九州山口支部</p>	76(39)
講習会【本部】	
<p>有機合成化学講習会(前期); 6/13~6/14; 日本薬学会会長井記念館長井記念ホール</p> <p>テーマ: 有機合成の新潮流—反応剤・反応・創薬 新たな挑戦—</p> <p>1.日進月歩の芳香族化合物脱カルボニル型変換反応 (早大理工) 山口潤一郎</p> <p>2.高反応性ホウ素化合物の化学: 不安定化学種取り扱い入門 (名大院工) 山下誠</p> <p>3.核酸医薬開発へ向けた技術構築の挑戦 (協和発酵キリン) 山本潤一郎</p> <p>4.【有機合成化学協会賞「技術的なもの」受賞講演】</p> <p>新規酸化剤『次亜塩素酸ナトリウム 5 水和物(SHC5)』の工業化と酸化反応への応用 (日本軽金属) 岡田倫英</p> <p>5.生きている動物内での創薬研究: 生体内合成化学治療 (理研) 田中克典</p> <p>6.マイクロフローリアクターを用いる高速・高効率アシル化反応 (東工大化生研) 布施新一郎</p> <p>7.連続生産の社会実装への取組み (高砂ケミカル) 齊藤隆夫</p> <p>※ランチョンセミナー2社 ◇ロックウッドリチウムジャパン ◇ユミコアジャパン</p> <p>8.アルコールを効率的かつ選択的に酸化するために (名大院創薬科学) 澁谷正俊</p> <p>9.【有機合成化学協会賞「技術的なもの」受賞講演】</p> <p>HIV-1 インテグラーゼ阻害剤ドルテグラビルの効率的合成法の開発 (塩野義製薬) 安酸達郎</p> <p>10.フローマイクロリアクターを用いた超高速反応による精密合成 (京大院工) 永木愛一郎</p> <p>共催: 日本化学会、日本薬学会 協賛: 日本農芸化学会</p>	91(0)
<p>有機合成化学講習会(後期); 11/21~11/22; 日本薬学会会長井記念館長井記念ホール</p> <p>テーマ: 有機合成の底力—新手法・新材料・創薬—</p> <p>1.保護基・活性化基に頼らない直接触媒反応 (九大院薬) 大嶋孝志</p> <p>2.しなやかタフポリマーによるポリマー高性能化 (東レ) 小林定之</p> <p>3.高屈折率・超低複屈折ポリカーボネートの開発とレンズ展開事例 (三菱ガス化学) 加藤宣之</p> <p>4.新規メカニズムを有する抗インフルエンザ薬の創製 (塩野義製薬) 河井真</p> <p>5.連続フロー反応による医薬品の革新的プロセスの開発—スケールアップから実用化まで— (カネカ) 安河内宏昭</p> <p>6.結晶スポンジ法: 天然物化学、創薬研究への応用 (東大院工) 藤田誠</p> <p>7.核酸医薬への有機合成化学的アプローチ (東京理大薬) 和田猛</p> <p>8.核磁気共鳴を利用した高感度生体分子計測 (東大院工) 山東信介</p> <p>9.クライオ電顕法の発展と創薬応用への可能性 (名大細胞生理学センター客員) 藤吉好則</p> <p>10.バイオ医薬品への有機合成化学アプローチ—抗体薬物複合体 Trastuzumab deruxtecan の創薬研究— (第一三共) 中田隆</p> <p>11.環状アルキンを用いる合成化学 (東京医歯大生材研) 吉田優</p> <p>12.日本発の大村天然化合物による微生物創薬 (北里大北里生命研) 砂塚敏明</p>	87(0)

表 5・7 平成 30 年度事業報告 (その 7)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
前ページからの続き 共催：日本化学会、日本薬学会 協賛：日本農芸化学会	
「AIと有機合成化学」研究部会 第 1 回勉強会；6/21；化学会館 1.インフォマティクスで有機合成の働き方改革！（ダイセル）大野充 2.Grzybowski 教授の仕事の意味－Chemica の衝撃（京大院工）松原誠二郎 3.Chemica で何ができるのか（シグマ アルドリッチ ジャパン）田中紀子	117(2)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 2 回勉強会；9/12；化学会館 1.Flow 合成と AI 利用の可能性（富士フイルム）山川一義 2.有機合成化学者が挑戦する AI×触媒研究（産総研）矢田陽 3.合成経路予測ツール - ChemPlanner from CAS（化学情報協会）上野京子	103(1)
講習会【東北支部】	
秋田地区講演会；11/21；秋田大学理工学部 「化学で生命現象を視る：有機小分子による蛍光イメージング」（五稜化薬）鈴木悠記 「発光生物学：光る生きものの科学」（中部大）大場裕一	48(44)
講習会【関西支部】	
有機合成 2 月セミナー「有機合成のニュートレンド 2018」；2/5～2/6；大阪科学技術センター 1.逆転の発想から生まれた、2 型糖尿病治療薬カナグリフロジン～尿糖排泄を促す SGLT2 阻害薬～（田辺三菱製薬）野村純宏 2.創薬研究を指向した金属ナノ粒子触媒の開発とその応用（阪大院薬）有澤光弘 3.組織中 lacZ 発現細胞のライブ検出を可能とする蛍光プローブの開発（東大院医）神谷真子 4.核酸を標的とした低分子創薬のススメ（阪大産研）中谷和彦 5.創薬化学における AI の現状と可能性（京大院医）奥野恭史 6.典型元素 $\pi$ 電子系の創製と蛍光イメージングへの展開（名大生命分子研）山口茂弘 7.金属ナノ粒子触媒を用いた環境調和型の官能基変換反応（阪大院基礎）實川浩一郎 8.mGluR5 ネガティブアロステリックモジュレーターの創薬研究（阪大院薬/大日本住友製薬）吉田耕三 9.化学資源を活用する有機合成化学（京大化研）中村正治 10.網羅合成を目指した連続反応による天然物合成（名大院生命農）西川俊夫 11.未来を化学で元気にする元素ブロック高分子材料（京大院工）中條善樹 共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会、近畿化学協会	126(43)
有機合成夏期セミナー「明日の有機合成化学」；8/27～8/28；大阪科学技術センター 1.分子夾雑系でのタンパク質有機化学（京大院工）浜地格 2.HIV-1 インテグラーゼ阻害剤ドルテグラビルの効率的合成法の開発（塩野義製薬）安酸達郎 3.新しい分子の振舞いを理解する：触媒機能から生物活性まで（名大 WPI-ITbM）大井貴史 4.ペプチド医薬品探索の革命（東大院理）菅裕明 5.ケミカルバイオロジー研究のための新手法の開発（理研）袖岡幹子 6.半導体レジスト材料レジストモノマー®の開発－シミュレーションの活用－（ダイセル）大野充 7.反芳香族ポルフィリンから探る新たな芳香族性（名大院工）忍久保洋 8.タキソール全合成への挑戦（慶大理工）千田憲孝 9.亜鉛、コバルト、マンガン錯体触媒によるエステル交換反応およびアミドの C-N 結合切断反応（阪大院基礎工）真島和志 10.フローマイクロ光化学による効率的物質合成（奈良先端大）垣内喜代三 共催：日本化学会、日本農芸化学会、日本薬学会、近畿化学協会	94(30)
懇談会【本部】	
2018 新春特別フォーラム；1/17；化学会館・山の上ホテル（本館） ※講演の部「世界に飛躍する日本の科学技術―産学の明日を考える―」 1.富士フイルムのイノベーションにおける変革と新規事業の創出（富士フイルム）戸田雄三 2.天然物合成 四方山ばなし（東工大理）鈴木啓介 ※賀詞交換会「産官学の人的ネットワーク構築をめざして」 共催：有機合成化学協会関東支部	149(0)

表 5・8 平成 30 年度事業報告 (その 8)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
第 2 回公開講演会「AIと有機合成化学」-キックオフミーティングを兼ねて- ; 1/31 ; 化学会館 7F ホール 1.科学技術研究を加速する人工知能 (産総研 A I センター) 辻井潤一 2.合成の自動化と AI への期待 (京大院工) 吉田潤一 3.ビッグデータ社会における AI の重要性～AI は、新材料を見つけることができるのか～(長瀬産業)折井靖光	109(0)
日本プロセス化学会・有機合成化学協会ジョイント講演会(出前講義) 6/8 ; 名古屋工業大学 Nitech ホール 1.主旨説明 (岐阜薬大) 佐治木弘尚 2.出前講義 (中外製薬) 池田拓真 ; (カネカ) 西山章 ; (アステラス製薬) 林泰正 3.出前講義のお礼と連絡事項・東海地区フォーラムのご案内 (名工大院工) 中村修一 4.総括と今後の展望 (北里大北里生命研) 砂塚敏明 共催 : 日本プロセス化学会、名古屋工業大学材料科学フロンティア研究院	211(130)
中堅・若手リーダーのための Y U G O K A F e (ユウゴウカフェ) (講演 & 討論会) —法人企業のリーダーークラス、次のリーダーを担う研究職・技術系社員、同年代のアカデミア所属会員のためのフォーラム— ; 8/24 ; 化学会館 7F ホール/6F 大会議室 [第 I 部] 講演 2 件 1.創薬研究とビジネスの融合、研究者に求められるセンスとは (ペプチドリーム) 舩屋圭一 2.化学企業人の研究人生— 1 つの例 (三井化学) 藤田照典 [第 II 部] 討論会	60(0)
有機合成化学懇談会 ; 12/14 ; 化学会館 5F 大会議室 企業の若手研究者と交流・討論できる、学生のためのセミナー(第 5 弾) (1) パネラー紹介 1.横浜研究所での生活ご紹介～日々行っていること、考えていること～ (三菱ケミカル) 中村健史 2.子育て世代のワーク・ライフ・バランス (富士フイルム) 山本愛子 3.製薬企業でのお仕事～有機化学を使って創薬+こんな業務も～ (アステラス製薬) 関岡竜一 4. J S R の紹介 (海外研究派遣制度や業務紹介を中心に) ( J S R ) 岸田高典 5.医薬探索合成から研究企画へ、将来設計の一例 (東レ) 新田亜衣子 6.自己紹介と住友化学 健康・農業関連事業研究所での仕事 (住友化学) 田邊貴将 (2) ブース形式懇談会	52(52)
懇談会【北海道支部】	
来日化学者講演会 ; 7/10 ; 室蘭工業大学 Ming-Hua Xu 教授による特別講演会 主催 : 有機合成化学協会北海道支部、共催団体 : 室蘭工業大学、日本薬学会北海道支部	31(25)
懇談会【関東支部】	
有機合成化学ミニシンポジウム① ; 4/20 ; 東京理科大学神楽坂キャンパス 1.天然物の合成研究 : 発想と展開 - アイデアと人との出会い - (理研名誉研究員、東京理大嘱託) 中田忠	221(149)
有機合成化学ミニシンポジウム② : ミニシンポジウム湘南 2018 ; 7/7 ; 東海大学湘南キャンパス 1.有機触媒を用いた可視光ペルフルオロアルキル化反応の展開 (お茶の水女子大基幹研) 矢島知子 2.アシルシラン類の光反応を活用する新規分子変換手法 (学習院大理) 草間博之 3.小さな分子スイッチで巨大分子や材料を動かす (東工大物質理工) 高田十志和	129(109)
有機合成化学ミニシンポジウム③ : ミニシンポジウム千葉 2018 ; 10/29 ; 千葉大学自然科学系総合研究棟 (西千葉キャンパス) 1.プロスタグランジン受容体作動薬の設計と合成 (東レ) 林亮司 2.典型金属触媒を用いる低酸性炭素-水素結合の直接的変換反応の開発 (東大院理) 山下恭弘 3.有機分子の孔から物理を覗く : ナノカーボンモデル分子の科学 (東大院理) 磯部寛之	148(76)
有機合成化学ミニシンポジウム④ : ミニシンポジウム多摩 2018 ; 10/27 ; 東京薬科大学 3 号館 1.カチオン環化反応の研究における幾つかのセレンディピティー (工学院大先進工) 南雲紳史	130(89)

表 5・9 平成 30 年度事業報告 (その 9)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
前ページからの続き 2.ポリフェノールの合成から学んだ有機化学 (東工大理) 大森建 3.特徴あるニトロンの創成とその高次利用 (昭和薬大薬) 田村修 共催: 東京薬科大学、東京薬科大学「私立大学研究ブランディング事業」	
第 16 回有機合成化学談話会(湯河原セミナー); 9/28~9/29; 富士フィルム和光純薬(株)湯河原研修所 講演 3 件 1.環状骨格を持つ非天然アミノ酸を基盤とする構造研究と応用 (東大院薬) 尾谷優子 2.世界の農薬マーケット現状と農薬開発研究の実際 (日本曹達) 三谷晃 3.天然物合成 四方山ばなし (東工大理) 鈴木啓介 【ショートレクチャー】&【ポスターセッション】6 件	28(9)
懇談会【東海支部】	
Dr. Yi Hsaio (Xiao) 訪日学者講演会; 3/16; 名古屋大学 Development of Challenging Catalytic Reactions through Mechanistic Understanding (Head of Catalysis R&D Group, Chemical & Synthetic Development, Bristol-Myers Squibb Company, U.S.A.)Dr. Yi Hsaio (Xiao)	113(98)
Prof. Aaron Aponick 訪日学者講演会; 3/16; 名古屋大学 StackPhos: From Structural Curiosity to Enantioselective Catalysis (Department of Chemistry, University of Florida,U.S.A.)Prof. Aaron Aponick	113(98)
Prof. Philip Mountford 訪日学者講演会; 3/16; 名古屋大学 Recent Advances in the Synthesis and Reactivity of Transition Metal Hydrazido and Borylimido Compounds (Department of Chemistry, University of Oxford, U.K.)Prof. Philip Mountford	113(98)
Dr. Dominique Cahard 訪日学者講演会; 4/24; 名古屋工業大学 " When Fluorine met Sulfur" (Université de Rouen, France, Organic Chemistry Research Institute) Dr. Dominique Cahard	82(79)
Ph.D. Utpal Bora 訪日学者講演会; 7/23; 岐阜薬科大学 Palladium Catalysis: Chemosensors, Mechanistic Studies, and Bioorthogonal Chemistry (Associate Professor Department of Chemical Sciences,Tezpur University, Tezpur, Napaam, Assam, India)Ph.D. Utpal Bora	25(20)
Prof. Ying-Yeung Yeung 訪日学者講演会; 8/28; 名古屋大学 Recent Advances in Organocatalytic Halogenation Reactions (Department of Chemistry, The Chinese University of Hong Kong, China) Prof. Ying-Yeung Yeung	87(72)
Prof. Ryan A. Shenvi 訪日学者講演会; 9/11; 名古屋大学 Chemical Synthesis of Secondary Metabolites (Department of Chemistry, The Scripps Research Institute, U.S.A.)Prof. Ryan A. Shenvi	96(81)
Prof. Christopher S. Jeffrey 訪日学者講演会; 10/10; 静岡県立大学 Exploring natural products variation leads to chemical discoveries (Associate Professor Department of Chemistry University of Reno, U.S.A.) Christopher S. Jeffrey	40(32)
Prof. Philippe Jubault 訪日学者講演会; 10/31; 豊橋技術科学大学 Asymmetric synthesis of fluorocyclopropanes, difluoromethyl and trifluoromethyl cyclopropanes and applications (Enseignant-chercheur INSA de Rouen, France)Prof. Philippe Jubault	24(21)
懇談会【関西支部】	
有機合成新春講演会; 1/23; 大阪科学技術センター	

表 5・10 平成 30 年度事業報告 (その 10)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き</p> <p>1.キラル有機物質が示す革新的複雑系化学現象の発見と機構解明および一般化(京大院人間・環境学) 田村類</p> <p>2.エレクトロニクス応用に向けた共役 <math>\pi</math> 電子系の開発～構造有機化学と機能材料科学のはざまで～ (阪大産研) 安蘇芳雄</p> <p>3.次世代を担う有機レドックス化学合成からエネルギー貯蔵まで (京大院工) 吉田潤一</p> <p>4.会合現象が要になる高活性キラルチタン触媒 (京工織大院工芸) 原田俊郎</p> <p>5.アセタル型塩化学種を利用する有機合成化学 (阪大院薬) 藤岡弘道</p> <p>6.関西有機合成化学四半世紀 (同志社女大薬/京大名誉) 富岡清</p> <p>共催: 近畿化学協会</p>	96(19)
<p>セミナー“化学千一夜「あすの化学への夢を語ろう」; 6/8～6/9 ; ダイキン工業(株)テクノロジー・イノベーションセンター(TIC)/I&amp;I LAND</p> <p>1.見学会; ダイキン工業(株)テクノロジー・イノベーションセンター</p> <p>2.テクノロジー・イノベーションセンターのご紹介とダイキンのフッ素化学 (ダイキン) 徳野敏</p> <p>3.ダイキンのフッ素化技術と中間体の紹介 (ダイキン) 黒木克親</p> <p>4.光化学を直感的に理解する – 材料化学のための新しい量子化学 – (京大化研) 志津功将</p> <p>5.放談会「千一夜物語とは比ぶべくもない化学よもやま話」(京大名誉) 植村榮</p> <p>6.無機ナノ粒子触媒が叶えるグリーンな物質・エネルギー変換 (九大 I2CNER) 山内美穂</p> <p>7.ホスゲン反応へのフローリアクターシステムの活用と GMP・マルチパーパス設備の導入 (カネカ) 安河内宏昭</p> <p>8.電子が触媒するクロスカップリング反応 (関西学大理工) 白川英二</p> <p>共催: 日本化学会、近畿化学協会</p>	47(0)
懇談会【中国・四国支部】	
<p>第 77 回パネル討論会「有機フッ素化学」(第 1 回幹事会・懇話会合同会議) ; 5/19 ; 岡山大学 ; 世話人: 依馬正、坂倉彰</p> <p>1.有機フッ素化合物の触媒的合成: 技術開発と展開 (群馬大院理工) 網井秀樹</p> <p>2. gem-ジフルオロシクロプロパン-合成とその機能材料化、開環反応によるさらなる活用 (鳥取大院工) 伊藤敏幸</p>	116(69)
<p>第 78 回パネル討論会「ポルフィリノイド化学の進歩と展望」; 7/21 ; 愛媛大学 ; 世話人: 宇野英満</p> <p>1.Selective Synthesis of Ring-expanded Porphyrins with No Meso-bridges (愛媛大院理工) 奥島鉄雄</p> <p>2.Molecular Recognition and Catalysis with Porphyrins and Related Macrocycles (岡山大院自然) 依馬正</p> <p>3.Creation from Confusion: Novel Properties of Expanded, Contracted, and Isomeric Porphyrins Bearing Confused Pyrrole Rings (九大院工) 古田弘幸</p> <p>4.Macrocyclic-based Adventures in Self-Assembly (The University of Texas, USA) Jonathan L. Sessler</p> <p>5.Fusion Chemistry of Porphyrinoids (京大院理) 大須賀篤弘</p> <p>6.Spectroscopic Diagnosis of Excited-state Aromaticity: Capturing Electronic Structures and Conformations upon Aromaticity Reversal (Yonsei University, Korea) Dongho Kim</p>	51(31)
<p>来日学者講演会 ; 1/16 ; 岡山大学 ; 世話人: 西原康師</p> <p>Multi-Stimuli-Responsive and Multicolor Luminescent Organic Materials (National Taiwan University, China) Prof. Jye-Shane Yang</p>	34(23)
<p>来日学者講演会 ; 2/8 ; 岡山大学 ; 世話人: 依馬正</p> <p>Energy Relevant Processes Catalyzed by Corrole Metal Complexes (Israel Institute of Technology, Israel) Prof. Zeev Gross</p>	33(27)
<p>来日学者講演会 ; 2/9 ; 愛媛大学 ; 世話人: 宇野英満</p> <p>Metalloporphyrins for Photocatalysis (Israel Institute of Technology, Israel) Prof. Zeev Gross</p>	25(20)

表 5・11 平成 30 年度事業報告 (その 11)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
来日学者講演会；3/9；岡山大学；世話人：依馬正 Fat and Sweet Chemistry towards Hydrogels and Polymer Materials (Ecole Nationale Supérieure de Chimie de Rennes, France)Associate Prof. Loïc Lemiègre	20(15)
第 15 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム；12/8；広島大学 世話人：相田美砂子(ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会) 口頭発表 (A) (20 分)、口頭発表 (B) (15 分) 主催：ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会	69(48)
懇談会【九州・山口支部】	
第 55 回化学関連支部合同九州大会；6/30；北九州国際会議場(北九州市) 化学関係九州支部(共催)；担当：有機合成化学協会九州山口支部 特別講演 1 件、招待講演 8 件、ポスター発表 135 件	900 (688)
第 1 回有機合成化学講演会；5/11；九州大学病院キャンパスコラポステーション I 招待講演 3 件；世話人：清水宗治(九大院工)	90(52)
外国人特別講演会；3/19；九州大学 I2CNER ホール伊都キャンパス；担当：内田竜也(九大基幹) K. Barry Sharpless 教授講演会 (Department of Chemistry, The Scripps Research Institute)	100(40)
外国人特別講演会；7/27；九州工業大学戸畑キャンパス；担当：北村充(九工大院工) Olena V. Zenkina 教授講演会 Metal-ligand affinities and structure-induced properties in “smart” electrochromic and metal-sensing materials	49(42)
外国人特別講演会；11/7；九州大学先導物質化学研究所筑紫地区中央棟 111 演習室；担当：新藤充(九大先導研) Norbert Krause 教授講演会 (Dortmund University of Technology, Germany ) Water as Reaction Medium for Sustainable Gold Catalysis	20(17)
高分子学会九州支部フォーラム；2/23；崇城大学アクティブコモンズ 1.正岡重行 (分子研)、2.山口浩靖 (阪大)、3.速水真也 (熊本大)、4.西原康師 (岡山大) 主催：高分子学会九州支部	72(56)
日本化学会九州支部第 1 回講演会；4/26；ホルトホール大分 1.山本尚 (日本化学会会長)、2.氏家誠司 (大分大理工)、3.河村伸一 (住友化学株) 主催：日本化学会九州支部	93(48)
見学会	
見学会；実施なし	
公 2 関連会議	
有機合成化学協会事業委員会(3/9,5/16,7/10,9/25,12/4) 平成 30 年度(秋季)有機合成化学講習会企画委員会；5/16 平成 31 年度(春季)有機合成化学講習会企画委員会；11/7 第 113 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；3/9 第 114 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；7/10	
公 3. 表彰事業	担当機関
有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)	
理事による候補者推薦；6～8 月郵便による投票	理事会
理事によって推薦された候補者からの受賞者選考；10/11；化学会館 ●山本嘉則(東北大学名誉教授) 業績：有機金属—ルイス酸複合反応系および新奇金属触媒を用いる合成 表彰式・受賞講演(H31.2/14)	賞選考 委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞の選考と受賞者(協会賞：3 件；奨励賞：5 件採択)	
各支部推薦委員会；～7 月	賞選考 委員会
奨励賞書面審査；実施せず	
協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会；10/10～10/11；化学会館	

表 5・12 平成 30 年度事業報告 (その 12)

事業の名称および事業の概要	担当機関
<p>有機合成化学協会賞(学術的なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市川淳士(筑波大学) 業績: フッ素置換基の特性に基づく有機合成反応の促進と制御</li> <li>●澤村正也(北海道大学) 業績: 炭素-炭素結合形成不斉銅触媒反応の開発</li> </ul> <p>有機合成化学協会賞(技術的なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●安河内宏昭((株)カネカ) 業績: 連続フロー反応による医薬品の革新的プロセス開発</li> </ul> <p>有機合成化学奨励賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●岩崎孝紀(東京大学) 業績: 不活性結合の切断を伴う触媒的炭素骨格構築手法</li> <li>●臼井一晃(九州大学) 業績: ヘリセンの螺旋構造内部空間に着目した機能性分子の創製研究</li> <li>●澤間善成(岐阜薬科大学) 業績: 水素抽出型化学変換法の開発と応用展開</li> <li>●武田洋平(大阪大学) 業績: 含窒素芳香族化合物の新構築法に基づいた多機能性発光分子の創製</li> <li>●宮村浩之(東京大学) 業績: 不均一系触媒としての金属ナノ粒子の創成と有機合成への展開</li> </ul> <p>表彰式(H31.2/14)</p> <p>受賞講演: 協会賞(学術的なもの: H31.2/14 技術的なもの: H31.10/31~11/1) 奨励賞(H31.9/17~19)</p>	
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)	
<p>Mukaiyama Award 委員会; 2019 受賞者選考委員会 8/25</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●千葉俊介(南洋理工大学、シンガポール) Exploration of new reactivity of main group metal hydrides for development of unique and unprecedented molecular transformations.</li> <li>●Prof. Richmond Sarpong (University of California, Berkeley) Development of strategies and methods for the synthesis of complex molecules, including natural products, by employing chemical network analysis as well as C-H and C-C bond functionalizations.</li> </ul> <p>表彰式・受賞講演; H31.9/17~19</p>	Mukaiyama Award 委員会
Lectureship Award	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●Prof. Ryan A. Shenvi (The Scripps Research Institute, USA) The development of metal-catalyzed hydrogen atom transfer reactions and total synthesis of complex natural products.</li> </ul> <p>表彰式・受賞講演; H30.9/18~20</p>	東北支部
企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 4 件採択)	
<p>シオノギ・低分子創薬化学賞; 書面審査(郵便; ~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●長澤和夫(東京農工大学) 業績: 全合成を基盤とするグアニジンアルカロイド類の生物および化学的機能創出</li> </ul> <p>東ソー・環境エネルギー賞; 書面審査(郵便; ~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●斎藤進(名古屋大学) 業績: 有機金属錯体を用いる安定カルボン酸誘導体の触媒的水素化法の開拓</li> </ul> <p>日産化学・有機合成新反応/手法賞; 書面審査(郵便; ~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大嶋孝志(九州大学) 業績: 官能基標的触媒による化学選択性の触媒制御を基盤とする複雑系分子の直接的変換反応の開発</li> </ul> <p>富士フイルム・機能性材料化学賞; 書面審査(郵便; ~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●畠山琢次(関西学院大学) 業績: タンデムボラ Friedel-Crafts 反応を鍵とした有機エレクトロニクス材料の開発</li> </ul>	企業冠賞選考委員会
高砂香料国際賞「野依賞」関連	
<p>野依賞委員会; 2018 受賞者選考委員会 8/27</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Prof. Yoshito Kishi (Harvard University, USA) Prof. Kishi has been engaged in a wide range of research on complex natural products with significant biological activities. He pioneered the area of acyclic stereocontrol, completed the total synthesis of numerous complex natural products including neurotoxins (palytoxin, tetrodotoxin, etc.), polyether antibiotics (monensin, lasalocid A, etc.) and antitumor natural products (halichondrins, mitomycin, etc.), and advanced a new concept for stereochemistry assignment of complex organic molecules. Notably, his</li> </ul>	野依賞委員会

表 5・13 平成 30 年度事業報告 (その 13)

事業の名称および事業の概要		参加者数 担当機関
前ページからの続き research efforts on the halichondrin class of marine natural products paved the way for the successful creation of Eisai's anticancer drug Halaven (Eribulin mesylate). 表彰式・受賞講演 ; H31.2/14		
支部表彰		
【関西支部】 第 16 回関西支部賞受賞講演会 ; 12/4 ; 大阪科学技術センター 1.金属ナノクラスターの精密有機修飾を利用した触媒反応加速場の構築 (京大化研) 磯崎勝弘 2.スピロシクロプロパンの環ひずみを活用した複素環化合物の高効率的合成法の開発 (富山大院医薬) 南部寿則 3.光誘起電子移動を駆動力とする環境調和型ラジカル反応系の構築 (福井大院工) 吉見泰治 共催 : 近畿化学協会		45(0)
【中国・四国支部】 有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」 ; 11/24 ; 広島大学(第 2 回幹事会・懇話会合同会議) ; 世話人 : 灰野岳晴 【支部奨励賞受賞講演】 弱い相互作用により駆動される自己集合を利用した機能性超分子集合体の合成と機能 (東海大理) 池田俊明 【特別招待講演】 グアニン四重鎖のケミカルバイオロジー (東農工大院工) 長澤和夫		48(20)
【九州・山口支部】 第 2 回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式 ; 11/15 ; 九州大学伊都キャンパス ; 世話人 : 清水宗治(九大院工) 支部賞受賞講演、招待講演 第 28 回万有福岡シンポジウム ; 5/12 ; 九州大学病院キャンパス百年講堂 ; 支部ポスター賞 (2 名)		77(41)
他 1・共益事業		
ゆうごう会		
第 25 回ゆうごう会 ; 6/18 ; 化学会館 講演 1 件 : サプリメント活用による薬に頼らない健康 (イムダイン) 本多伸吉		13(0)
第 26 回ゆうごう会 ; 12/13 ; King of Kings (大阪市) ; 講演 2 件 1.大学の片隅で経験したゆうごう会でしか話せない小話 (京大名誉) 鈴木仁美 2.化学企業に奉職して一化学を楽しんだ小話 (元日本合成化学) 下坂雅俊		23(0)
海外視察団派遣		
海外視察団派遣 ; 実施なし		
技術アドバイス事業		
技術アドバイス事業 ; 申請なし		
研究企画賞		担当機関
研究企画賞選考委員会 ; 11/12 ; 化学会館 ; 22 件採択 ● 味の素研究企画賞: 森廣邦彦 (東京大学) L-Threosamine を基盤骨格とした架橋型人工核酸の合成と核酸医薬素材への応用 ● ADEKA 研究企画賞: 渡邊瑞貴 (北海道大学) ペプチドミメティクスとして機能する $\alpha$ ヘルックス型フォルダマー分子の創製 ● 岩城製薬研究企画賞: 鰐淵清史 (横浜薬科大学) マイクロフロー化学を基盤とした[1.1.1]propellane ライブラリーへの応用 ● カネカ研究企画賞: 佐藤太久真 (理化学研究所) 自己組織化による回収再利用可能な高分子担持光触媒の開発 ● 関東化学研究企画賞: 土戸良高 (東京工業大学) 環状オリゴジチオアレーンの合成と二次元材料への応用 ● コニカミルタ研究企画賞: 久松洋介 (名古屋市立大学) 生体応用を指向した蛍光応答性人工ヘムレセプターの設計・合成		研究企画賞 選考委員会

表 5・14 平成 30 年度事業報告 (その 14)

事業の名称および事業の概要	担当機関
<p>前ページからの続き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 塩野義製薬研究企画賞: 矢田陽 (産業技術総合研究所) 機械学習を活用した高活性触媒の効率的設計のための方法論の構築</li> <li>● セントラル硝子研究企画賞: Kyalo Stephen Kanyiva (早稲田大学) アミノ酸をテンプレートとする効率的ヘキサフルオロイソプロピル基の導入法開発</li> <li>● 第一三共研究企画賞: 西川慶祐 (大阪市立大学) 含窒素スピロ環を一挙構築する不斉環化異性化反応の開発: アルカロイド合成の新戦略</li> <li>● 大正製薬研究企画賞: 伊藤幸裕 (京都府立医科大学) RNAを分解する低分子化合物の創製とその創薬化学的応用</li> <li>● ガイセル研究企画賞: 石割文崇 (東京工業大学) 有効共役長の伸長と特異な高次構造形成をもたらす「二面性 <math>\pi</math> 共役ポリマー」の開発</li> <li>● 田辺三菱製薬研究企画賞: 浅子壮美 (岡山大学) ジアゾ化合物を用いない触媒的カルベン発生法の開拓</li> <li>● 中外製薬研究企画賞: 溝口玄樹 (岡山大学) ホウ素アート錯体の 1,2-メタレート転位を精密制御する多官能性分子骨格の構築</li> <li>● 帝人ファーマ研究企画賞: 八幡健三 (大阪大学) 末端二重結合からキラルアニオンの調製: 不斉メチル基の触媒的構築への応用</li> <li>● 東ソー研究企画賞: 酒巻大輔 (大阪府立大学) 非対称型アザアセンの酸化的カップリングを用いた円偏光発光材料の大量・迅速合成法の確立</li> <li>● 日産化学研究企画賞: 永縄友規 (産業技術総合研究所) クロロシランの遷移金属への酸化的付加を鍵とする触媒的分子変換反応の開発</li> <li>● 日本触媒研究企画賞: 重野真徳 (東北大学) 複合プレステッド塩基を活用した二酸化炭素による炭素-水素結合のカルボキシ化反応</li> <li>● 富士フイルム研究企画賞: 熊田佳菜子 (東北大学) 分子状酸素を用いた銅触媒 <math>sp^3</math> 炭素-水素結合官能基化による機能性物質の環境調和型合成法の開発</li> <li>● 三井化学研究企画賞: 高石和人 (岡山大学) 発光団の嚙掛けによる円偏光発光色素の開発</li> <li>● 三菱ガス化学研究企画賞: 前田千尋 (岡山大学) 二酸化炭素固定化による六員環及び七員環環状炭素エステル合成法の開発</li> <li>● 三菱ケミカル研究企画賞: 大城宗一郎 (名古屋大学) 超分子ポリマーの時間発展を利用するハイブリッド材料の創製</li> <li>● Meiji Seika ファルマ研究企画賞: 牧野宏章 (東京理科大学) 医薬品及び関連化合物に含まれるスルホキシドに対する光反応を用いた新規立体化学制御法の開発</li> </ul>	<p>研究企画賞 選考委員会</p>
法人運営関連会議	
本部関連	
第 81 回通常総会(定期社員総会; 2/15)	
運営委員会・理事会(1/26, 2/15, 4/13, 6/15, 9/10, 12/6)	
財務・予算委員会(11/30, 1/18); 第一分科会(協会誌見直し)・第二分科会(会員増強) (4/13, 6/15, 9/10, 12/6)	
平成 31 年度役員候補者選出委員会(10/23)	
支部関連【北海道支部】	
支部幹事会; 7/7; 北海道大学	
1. 役員の紹介; 2. 2017 年度北海道支部・収支決算報告; 3. 2018 年度北海道支部・事業計画紹介; 4. 若手研究者のための有機化学札幌セミナーに関して; 5. 平成 31 年度有機合成化学協会役員推薦に関して; 6. 次期(平成 31, 32 年度)北海道支部代表理事(支部長)候補者の推薦に関して; 7. 役員候補者選出委員会・委員の選出に関して; 8. 有機合成化学協会賞、および奨励賞の推薦に関して; 9. 有機合成化学特別賞の推薦に関して; 10. 有機合成シンポジウム【春】に関して	
支部幹事会; 11/8; 北海道大学	
1. 2019 年度北海道支部・事業計画、および予算案に関して; 2. 次期北海道支部理事(支部長)に関して; 3. 役員(会長候補者、副会長候補者)の選出に関して; 4. 第 115 回有機合成シンポジウム【春】の開催に関して	

表 5・15 平成 30 年度事業報告 (その 15)

事業の名称および事業の概要	担当機関
支部関連 【関東支部】	
常任幹事会(4/20,7/12,10/18,12/18)	
支部幹事会(4/20,10/18)	
談話会(湯河原セミナー)企画委員会 ; 3/30 ; 化学会館	
協会賞等支部推薦委員会 ; 7/12 ; 化学会館	
新潟シンポジウム世話人会・新潟地区幹事会合同会議 ; 12/1	
支部関連 【九州・山口支部】	
事務引継会 ; 2/8 ; 九州大学伊都キャンパス(参加者 : H29/30 幹事執行部、相談役、監査、事務局員)	
支部各賞選考委員会 ; 5/11 ; 九州大学病院キャンパスコラボステーション I 奨励賞・優秀論文賞・技術賞候補者によるヒアリング ; 支部各賞選考委員(7名)	
第 1 回幹事会 ; 5/11 ; 九州大学病院キャンパスコラボステーション I 議題 : 平成 29 年度事業・決算報告 ; 平成 30 年度事業計画・予算案他	
第 2 回幹事会 ; 11/15 ; 九州大学伊都キャンパス 議題 : 平成 30 年度中間事業・会計報告 ; 平成 31 年度事業計画・予算案他	

#### 事業報告附属明細書

平成 30 年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。